

第73回学術集会 委員会企画（シンポジウム）演者公募 企画趣旨

学術委員会

企画名	私の失敗談聞いていきませんか？；『研究・論文執筆のこうしておけば良かった・・・』から学ぶ。		
企画責任者	学術委員：江木 盛時		
講演形式	シンポジウム（120分）		
<b>企画案詳細</b>			
座長・講演者名	役割	持ち時間	タイトル
山蔭 道明	座長		
公募1	演者	15分	研究立案の後の祭り；こうしておけば良かった。
公募2	演者	15分	研究遂行の失敗；もう一度チャンスがあるならこうする。
山蔭 道明	演者	15分	論文執筆の失敗；せっかく頑張った研究の論文がこんなことに・・・。
公募3	演者	15分	大学院の時代を振り返る；もう一度過去に戻れるならこうする。
公募4	演者	15分	多施設研究での揉め事；Authorshipで揉めないために
	総合討論	35分	
<b>企画趣旨（600字以内）</b>			
<p>研究を行う際には、計画通りに進まないことや予期せぬ問題が発生することは少なくありません。これらの経験から得られる教訓や気づきは、次の研究をより良いものにするための貴重な経験値となります。しかし、これらの失敗談は多くの場合、研究者自身に留まり、広く共有されることはありません。</p> <p>本シンポジウムは、研究を行ってきた先生達が経験する「失敗」や「後悔」をテーマにした体験共有を通じて、聴講される先生達が自らの研究活動や論文執筆における改善点を知り得ることで、研究の準備などを改善していくことを目的としています。</p> <p>各セッションでは、研究立案段階での反省点や、実施過程での問題、論文執筆における失敗、さらに多施設研究で発生したトラブルについて取り上げたいと思っています。また、失敗だけでなく、どうすればそれを乗り越えられたか、何を学び取ったかも深掘りし、参加者同士で有益な意見交換を行うことができればと思います。</p> <p>研究を行う際には、失敗を恐れることなく、むしろそれを学びのチャンスとして捉え、前向きに活かすことが重要ではないでしょうか。本シンポジウムを通じて、参加者が自分の経験を共有し、他の研究者の経験から学ぶことで、より充実した研究活動を展開できることを期待しています。</p>			
<b>公募講演に期待すること・応募者に求める経歴・資格（800字以内）</b>			
公募講演タイトル：	<p>私の失敗談聞いていきませんか？；『研究・論文執筆のこうしておけば良かった・・・』から学ぶ。</p> <p>公募1；研究立案の後の祭り；こうしておけば良かった。</p> <p>公募2；研究遂行の失敗；もう一度チャンスがあるならこうする。</p> <p>公募3；大学院の時代を振り返る；もう一度過去に戻れるならこうする。</p> <p>公募4；多施設研究での揉め事；Authorshipで揉めないために</p>		
公募講演の主旨：	<p>研究を行う際には、計画通りに進まないことや予期せぬ問題が発生することは少なくありません。これらの経験から得られる教訓や気づきは、次の研究をより良いものにするための貴重な経験値となります。しかし、これらの失敗談は多くの場合、研究者自身に留まり、広く共有されることはありません。</p> <p>本シンポジウムは、研究を行ってきた先生達が経験する「失敗」や「後悔」をテーマにした体験共有を通じて、聴講される先生達が自らの研究活動や論文執筆における改善点を知り得ることで、研究の準備などを改善していくことを目的としています。</p> <p>各セッションでは、研究立案段階での反省点や、実施過程での問題、論文執筆における失敗、さらに多施設研究で発生したトラブルについて取り上げたいと思っています。また、失敗だけでなく、どうすればそれを乗り越えられたか、何を学び取ったかも深掘りし、参加者同士で有益な意見交換を行うことができればと思います。</p> <p>研究を行う際には、失敗を恐れることなく、むしろそれを学びのチャンスとして捉え、前向きに活かすことが重要ではないでしょうか。本シンポジウムを通じて、参加者が自分の経験を共有し、他の研究者の経験から学ぶことで、より充実した研究活動を展開できることを期待しています。</p>		
演者に必要な条件： （経歴・資格など）	自らの体験を語れる方		

※現時点では企画案につき、今後企画の中止・変更となる場合がございます。

企画の採択は2025年7月末を予定しています。